



陸軍省
陸文密受第八五八〇番

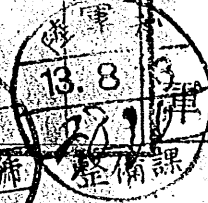
極秘



昭和十三年七月

一〇一六部

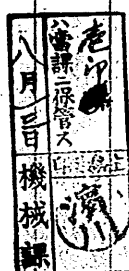
陸



徐海會戰及
安南支隊戰

極秘特種煙使用戰例及結果

中文秘派連軍司令部



極秘

昭和十三年七月

7

徐州會戰及
安慶作戰

ニ於ケル特種煙使用ノ戰例及成果

中支那派遣軍司令部

前 言
 本資料ハ徐州會戰及安慶作戰ニ於テ各部隊ノ
 使用セシ特種煙ノ戰例及成果並ニ等ニ關スル
 一部所見ヲ蒐錄シタルモノナリ

目次

- 第一、特種筒ノ效果及使用上ノ注意
- 第二、煙使用ニ依リ薄暮攻撃ノ成功セシ戰例
- 第三、化兵使用ニ依リ堅固ナル陣地ヲ突破シ得タル戰例
- 第四、化兵使用ニ依リ戰局ヲ有利ニ導キタル戰例
- 第五、特種筒ノ使用狀況及效果並將來ニ関スル意見
- 第六、特種筒ノ使用ニ依リ敵ヲ潰走セシタル戰例
- 第七、特種筒ノ使用ニ依リ城門ヲ占領ヲ容易ナラシメタ
ル戰例
- 第八、香口附近ノ敵前上陸ヨリ湖口攻略迄ノ特
種筒ノ使用狀況
- 附錄第二十師團ニ於ケル特種煙使用ノ成果概要

第一特種筒ノ效果及使用上ノ注意

一特種筒效果ノ一般
 徐州會戰及安慶作戰ニ於テハ其戰鬪ノ性質及
 企圖秘匿ノ見地ヨリ一般ノ化兵使用方針トハ
 異ナリ局部的ニ之ヲ使用シ局地ノ戰鬪ヲ有利
 ニ進捗セシムルヲ主眼トシ狀況ニ依リ所要才
 面ニ徹底的ニ集中使用シテ敵ヲ急襲シ以テ敵
 ニ殲滅的大打撃ヲ與フル如使用スルニトニ定
 メラレタリ
 從ツテ高濃度ノ〇〇效力ハ始メヨリ期待セサ
 リシモ其ノ使用效果ハ殆ント防毒面ヲ有セサ
 ル素質劣等ナル支那軍ニ對シテハ例令少數ヲ
 使用セル場合ニ在リテモ豫期以上ノ效果ハ殊
 ニ敵ノ戰意ヲ喪失セシムル精神的効果アル
 ヲ確認シタリハ各部隊ノ戰例參照

二各部隊ノ徐州會戰及安慶作戰ニ於テ特種煙ヲ
 使用セル結果ニ基キ其ノ使用上ノ主ナル注意
 事項ヲ述フレハ左ノ如シ
 一 使用量
 局部的ニ使用スル場合ニ在リテモ個々ニ使
 用スル事ナク勉メテ要點ニ集結使用（少クモ
 四〇箇以上）シ以テ化兵ノ效力ヲ勉メテ大ナ
 ラシムルノ著意ヲ必要トス
 2 煙ニ膚接シテ突撃スル動作
 特種煙（即効性ノ一時性）ニシテ別名決勝
 〇〇ト稱セアルハ直ニ効力カ表ハルルト共
 ニ其恢復力モ早ク吸入後概ネ三十分ニシテ
 其效力ヲ失フノ特性アルヲ以テ幹部以下兵
 ニ到ル迄克ク其效力ノ特徴ヲ認識シ放射煙
 ニ直ニ跟隨シテ突撃スルノ著意ヲ必要トス

3 氣象測定 前迄ニ局地ノ氣象狀況ヲ成ルヘ
 特種筒使用 詳細ニ測定スル外地形ノ狀況等ニ基ク局
 ク詳細ニ測定スル外地形ノ狀況等ニ基ク局
 地風ノ変化ヲ推定若クハ觀測シ以テ其效果
 ヲ大ナラシムルト共ニ我ニ損害ヲ受クルコ
 トナキ様勉タルヲ要ス
 徐州會戰ニ於テモ氣象測定者クハ推定不十
 分ナル爲メ特種筒使用ノ時機ヲ失シ或ハ
 却テ我ニ損害ヲ受ケシ部隊アリタリ
 4 使用部隊 特種煙ハ第一線ノ歩兵部隊自ラ使用スルヲ
 本則トスルヲ要ス今迄作戰ニ於テハ一般ノ

ヘシ又裝面シテ行フ煙ノ膚接攻撃要領ニ關
 シテハ今次ノ實績ニ徴スルモ將來尙大ニ練
 成スルノ要アリ

歩兵部隊カ特殊煙ヲ實際ニ使用スルコトハ
 多クハ初メテナリシヨ以テ放射ニ當リ野戦
 瓦斯隊ヨ配屬若クハ協力セシメタルモ將來
 ハ第一線歩兵部隊ハ瓦斯兵ノミナラス中隊
 全員之ヲ使用シ得ル如ク練成シ置クヲ要ア
 ラム
 5 使用要領
 特殊煙筒ハ勉メテ発煙筒若クハ催涙筒ト混用
 スルヨ可トス。特殊煙筒使用ノ終期ニ發煙
 筒ヲ使用スルトキハ敵ニ長ク装面ヲ強要シ
 敵ノ戰鬪行動ヲ減殺シ得ルヲ以テ有利ナリ
 6 第一線部隊ノ化學戰資材補給並携行法
 師團ニ於テ相等量ヲ保持シ置キ狀況ニ依リ
 必要ト認ムル第一線部隊ニ自動車其他ノ輸
 送機関ヲ以テ隨時補給スルヲ可トスルモ使

用ノ好機ヲ逸スル虞アルヲ以テ成ルヘク所
要量ヲ予メ第一線部隊ニ分配シ置クヲ可ト
ス

然シテ第一線ノ部隊ハ背負袋若クハ帶革等
ニ結着シテ携行シ狀況ニ應ジ直々ニ使用シ
得ル如ク準備シアルヲ要ス

機密保持

本資材ノ特異性ニ鑑ミ尚一層注意スルヲ要
アリ

附記

一 素質劣等ナル支那軍ニ對シテハ例令化兵
ノ少量ヲ使用シテモ其效力ノ大ナルコトハ
前述ノ如クナルヲ以テ第一線部隊ハ特種筒
ニ比シ輕量ナル催淚筒甲ヲ發煙筒ト混用シ
テ隨時使用スルノ著意ヲ更ニ必要トスヘシ

第二 煙使用ニ依リ薄暮攻撃ノ成功セシ戦例
 (刈庄附近上釜河渡河戦闘)

目次

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我ノ状況
- 二 戦闘地ニ於ケル天候氣象地形
- 三 戦闘經過ノ概要特ニ放射ノ状況
- 四 煙使用ノ效果

(一) 戦闘前ニ於ケル彼我ノ状況

昭和十三年六月一日龍頭堤附近、警戒陣地ニ於テ執強執拗ナル抵抗ヲ持續シタル敵ハ夜陰ニ乘シテ上釜河左岸地區ニ一舉後退シ主陣地帯ニ據リテ更ニ我西進ヲ拒止セントシツニアリ

上釜河渡河点附近ニ於ケル敵陣地要圖別紙第一ノ如シ
 二日早朝敗退セル敵ニ追尾シテ上釜河右岸地區ニ進出シタル聯隊主力ハ薄暮引續キ上釜河ヲ渡河シ前岸ニ進出セントス

當時歩兵第六聯隊第一大隊ハ午前十時頃陸家橋附近ニ歩兵第六十八聯隊其他ハ夕刻三家王陳家附近ニ又上釜河支隊ハ上釜河ヲ渡河シ逐次西方ニ進出シアリ

(二) 戦闘地ニ於ケル天候氣象及地形

天候氣象

戦闘間概ネ曇天ニシテ薄暮時東風ニ五米ノ微風アリシ
モ攻撃前進時東北風ト變化ス
日出午前六時頃 日没午後八時頃

地形

上釜河河底ハ泥土質ナル徒歩兵ノ通過容易ニシテ其
徒歩兵ハ刈庄西側下流約七百米ノ間ニ在リ
流域一帯ハ畑地又ハ草地多ク一面濕地帯ヲ爲ス
工兵第三聯隊河川偵察要圖別紙第二、如シ

(三) 戦闘經過、概要特ニ放射、状況

聯隊ハ二日薄暮砲兵ノ制圧並に化兵協力ノ下ニ強行渡河
シ先ツ王家樓ヲ推王附近ヲ確保シ次ニ爾後ノ前進
ヲ準備スルニ決ス、

午後八時三十分豫定ノ如ク第二大隊（中隊缺）ハ第一線ト
ナリ猛射ヲ冒シ硝煙ヲ潜リ逐次濕地帶上、攻撃陣地
ヲ推進ス

之ニ先テ野砲兵第二大隊（第五中隊缺）ハ午後六時乃至七
時ノ間ニ於テ敵陣地ノ要部ニ對シ穿貫的破壊射撃
ヲ實施セリ

突撃歩兵ノ前進ト共ニ化兵部隊ハ多量ノ化學戰資
材ヲ攜帶シテ彈雨下ヲ縫ヒツ、概ネ河流附近ニ到
達シ諸準備ヲ完了シテ發煙隊長ノ一命ヲ待ツ、
時ニ森田少佐ハ師團及聯隊瓦斯掛將校ト密接ナル

連繫ヲ保持シテ第一線大隊本部位置ニ在リ
 然ルニ午後七時頃觀測セル風向ハ東風ヨリ逐時東
 北風ト化シ加フルニ左第一線中隊豫期以上敵陣内ニ
 肉迫セシ爲化兵使用不可能ナルニ至ル
 茲ニ於テカ翻然化兵使用ヲ中止スルニ決シ大規模ノ
 煙幕構成準備ヲ完了スルヤ砲兵破壊射撃ニ引續キ
 發煙ヲ開始ス折柄ノ順風ハ長遠ナル化煙ヲ棚引カシテ
 劉庄西側渡河矣附近一帶ヲ被覆シ宛然白雲上ト化ス
 加之新ニカ號第一中隊ヨリ出サタル輕裝甲車三輛ハ最
 右翼前線ニ進出シテ更ニ發煙濃度ヲ増加シ其效果
 最高度ニ發揚セラル頃第一線歩兵ハ敢然一舉渡河ヲ決
 行シ敵陣地後端ノ線ニ向ヒ驀進セリ
 斯クシテ堅固ヲ誇リシ上蜜河陣地モ我カ突撃歩兵ノ力攻メ

堪へ兼ネテ漸次退却ヲ開始シ敗殘兵諸所ニ歩ミ、抵抗ヲ見ルミニ到リハ工兵ハ機ヲ失セス架橋若ハ土嚢埋填作業ヲ實施シ其完成ヲ俟ケテ聯隊主力モ亦渡河ヲ敢行シ概ネ午後十二時ニ至リ全部完了スルヲ得タリ
爾後聯隊ハ旅團命令ニ基キ依然攻撃ヲ續行シツ、戦果ノ大擴張ニ努ム

六月二日薄暮ニ於ケル煙大規模使用要圖別紙第三ノ如シ

(四) 煙使用ノ效果

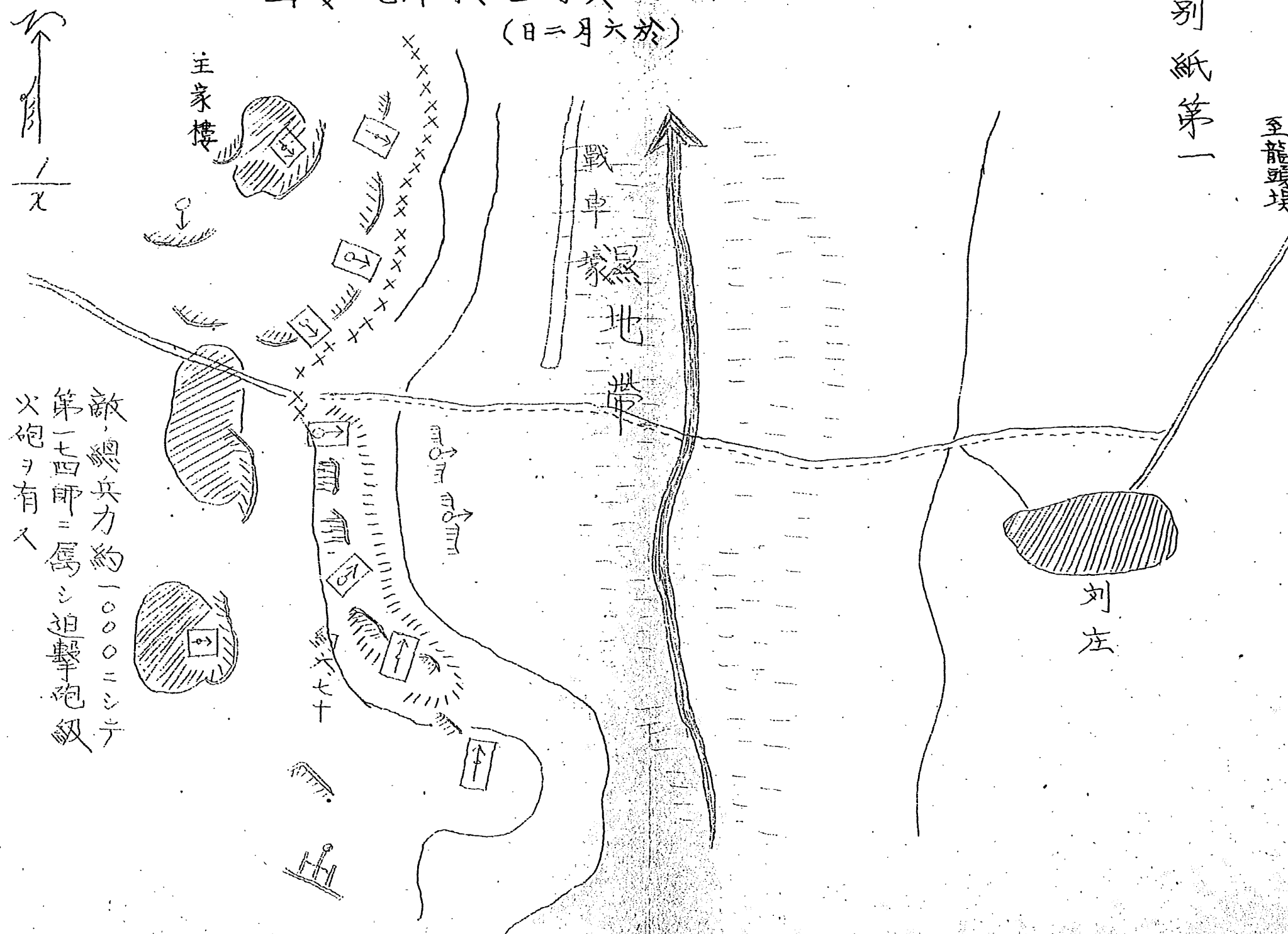
發煙筒使用數量 ハ〇本
風向俄然急變シタル爲特種筒放射ハ中止スルノ已ムナキ
状態ニ至リタルモ煙使用ニ依リ第一線歩兵ニ與ヘタル初動

的効果頗ル甚大ナルモアリ
 從ツテ渡河攻撃ニ於ケル
 煙ノ價值アリシモノト認ム

上蜜河渡河卓附近敵陣要圖

(於六月二日)

別紙第一



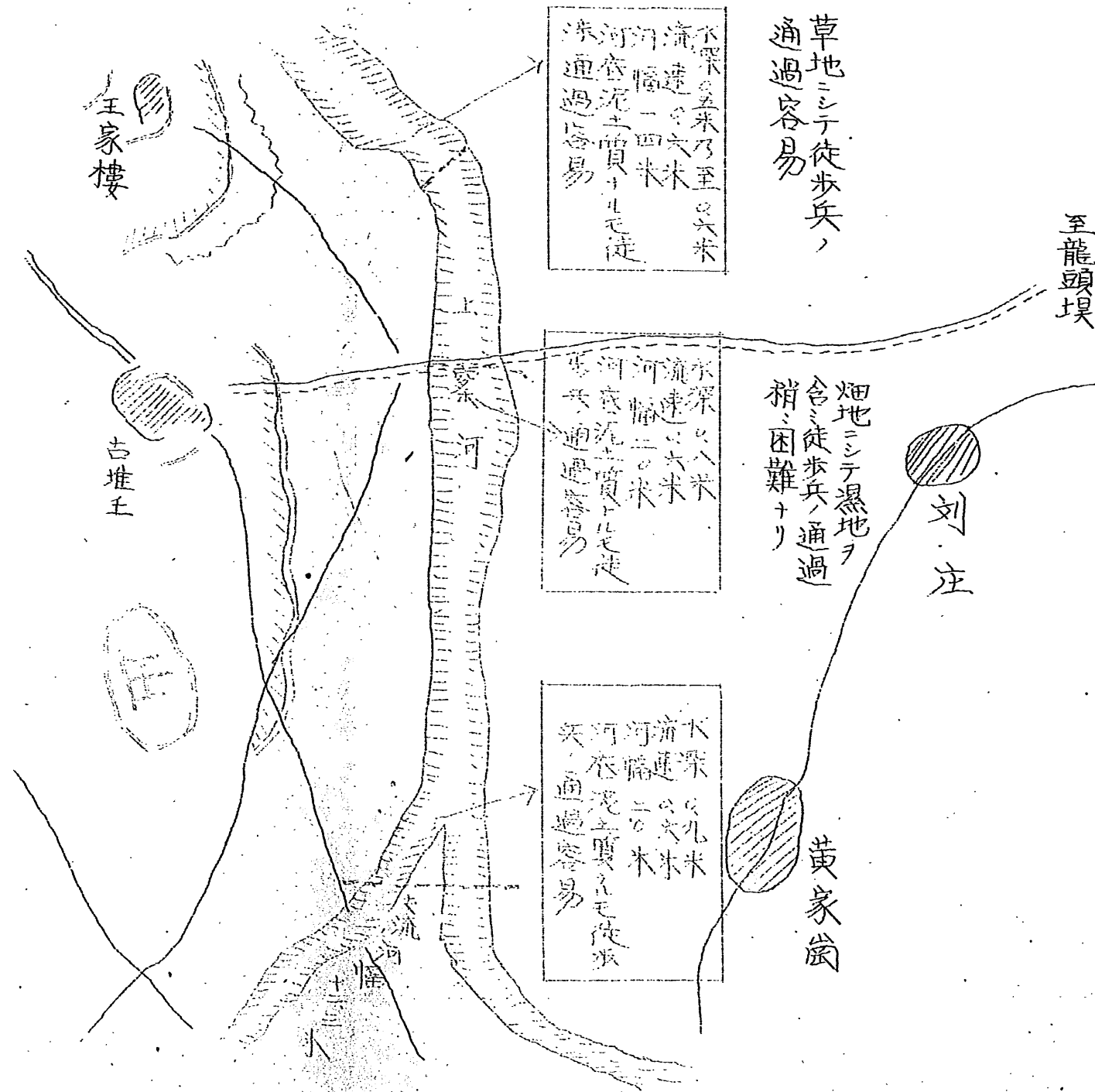
上塞河河川偵察要圖 (於六月二日)

別紙第二



判決

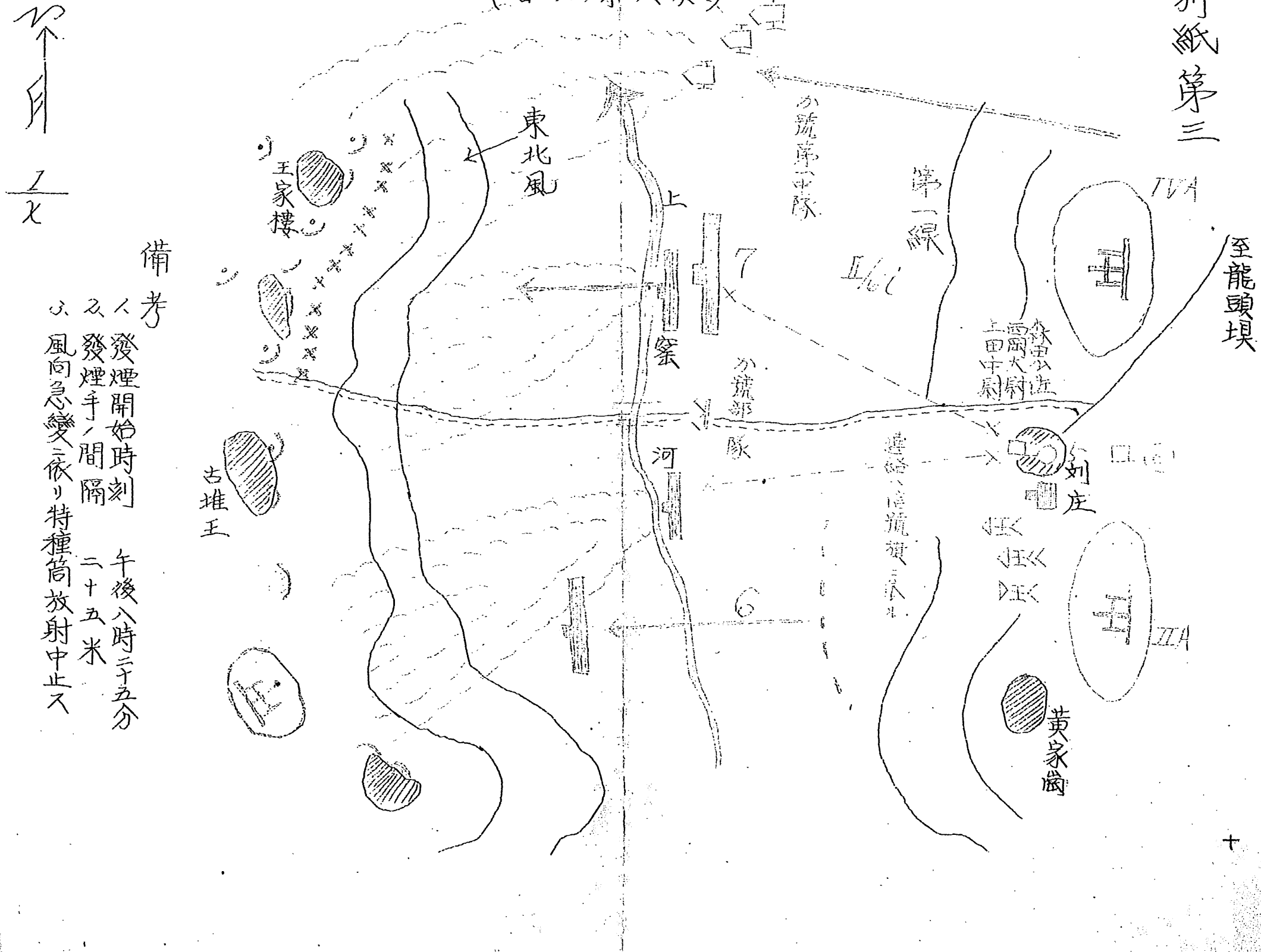
上塞河ハ徒歩兵通過可能ナルモ重車輛通過
ノ爲工兵中隊ヲ以テ二時間ヲ要ス
之々作業ニ要スル材料土嚢約五千個



上窑河渡口附近煙火規模使用要圖

(於六月二日)

別紙第三



備考

- 1. 發煙開始時刻 午後八時三十分
- 2. 發煙手ノ間隔 二十五米
- 3. 風向急變ニ依リ特種筒放射中止ス

第三
 化兵使用ニ依リ堅固陣地ヲ突破シ得タル
 戦例

(上寮西方千米無名部落附近ノ戦闘)

目次

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我ノ状態
- 二 戦闘地ニ於ケル天候氣象地形
- 三 戦闘經過ノ概況特ニ放射ノ状態
- 四 化兵使用ノ效果
- 五 使用ニ基キ得タル教訓

化兵使用ニ依リ堅固陣地ヲ突破シ得タル戦例
上寮西方千米無名部落附近ノ戦斗

上寮支隊

長

間宮歩兵少佐

歩兵第六聯隊第三大隊

(第九第十聯隊第十一
大隊第六大隊機關銃
半部)

野戰重砲兵第十聯隊第一大隊同聯隊銃半部
野砲兵第三聯隊第六中隊ノ一小隊
工兵第三聯隊第二中隊ノ一小隊

(一) 戦鬪前ニ於ケル彼我ノ状態

支隊當面ノ敵ハ第一線陣地ニ在ルモノ概チ五六百ヲ算
シ上寮南方部落「」ハ「」及ヒ其附近一帯ニ亘リ
堅固ニ構築セラレタル既設陣地ニ據リ頑強ニ抵抗

ヲ繼續シツ、アリ
 支隊當面、敵陣地要圖別紙第一、如シ
 第三大隊主力ヲ基幹トスル上、竊支隊ハ昭和十三年六月
 二日片山旅團主力、上竊河渡河作戰ニ策應シ午前
 六時先ツ砲兵射撃ヲ開始シ續イテ午前八時攻撃手前
 進ヲ開始ス

(二) 戰鬪地ニ於ケル天候氣象地形

天候氣象

曇天ニシテ北東ノ風約二―三米煙及化兵使用ニ好適ナリ

地形

一般ニ平坦開濶地ニシテ稍々前上リ斜面ヲナス

戰場一帯ハ草地差クハ麥畑ナリ

(三) 戦闘經過、概況特ニ放射ノ状態

午前八時二十分ヨリ第一線歩兵部隊ハ敵猛射ヲ冒シテ
 逐次敵陣前ニ迫近スルニ正面「レ」部「レ」部落ヨリス
 ル射撃猛烈且正確ニシテ特ニ「レ」部落及ヒ右方堤
 防上ヲ向ヨリスル側斜射最モ熾烈ヲ極メ戦死傷者
 續出シ敵陣約二百米附近ニ辛シテ迫近セルモ爾
 後、前進困難トナリ午前九時二十分頃ヨリ遂ニ戦斗
 一時交綏状態ニ陥ル

茲ニ於テ支隊長間宮少佐ハ百方手段ヲ盡シテ攻撃
 ヲ復行シタル後午後二時ニ至リ遂ニ化兵使用ニ決ス
 此日天候曇天且北東ノ風約三米ニシテ地形平坦流
 動ヲ防碍スヘキ地物無ク低迷ノ状況極メテ良好ナ
 リ

第一線歩兵部隊ハ化兵放射ト共ニ突撃準備ヲ完了シ化兵敵陣内深く覆フニ至ルヤ全線同時ニ突撃ヲ敢行ス

敵ハ我化兵使用ニ依リ全ク混乱状態ニ陥リ陣地ヲ離レ武器ヲ棄テ、潰走スル者或ハ麻痺化シテ呻吟苦惱スル者多数ニ上リ午後三時十五分我第一線歩兵部隊ハ完全ニ敵第一線陣地ヲ奪取スルニ至レリ

斯クシテ我支隊ハ同夜該陣地一帯ヲ確保シ明三日ニ於ケル第二線陣地攻撃ヲ準備ス

同日ニ於ケル化兵放射状況要圖別紙第二ノ如シ

四) 化兵使用ノ效果

本戦中ハ攻撃正面ニ比シ使用筒数僅少ナリシ爲徹
底セル效果ヲ發揮シ得サリシヲ遺憾トス
然リト雖モ寡克ノ優勢且堅固ナル陣地ヲ突破
シ得タルハ化兵使用ニ依ル效果ニシテ就中敵後
方部隊ニ與ハタル精神的効果（恐怖心）ハ頗ル
甚大ナリシモノト謂フヘク敵退却ノ動機ヲ作爲
セルモノト認ム

戦中成果
敵ノ損害

遺棄死体
鹵獲品

約二百

円匙一五小銃二〇小銃彈八〇
拳銃一鉄帽一三帶剣五

我ノ損害

戦死
戦傷

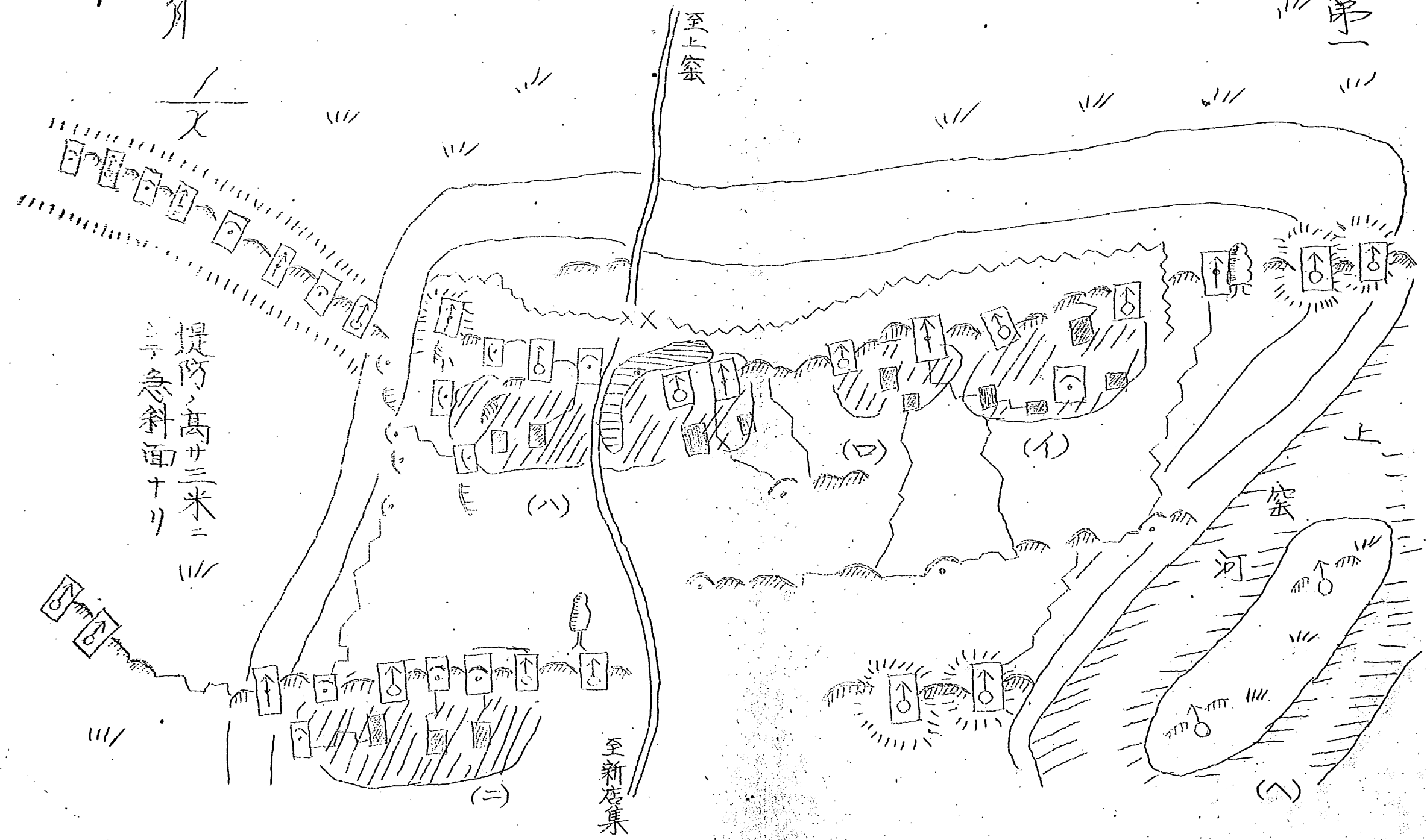
一六
四九

(五) 使用ニ基キ得タル教訓

- (1) 化兵使用ニ依リ敵第一線ハ勿論後方部隊ニ至ル迄與フル精神的效果ハ甚大ナルモノニシテ一面第一線歩兵ニ及ホシタル初動的效果亦甚大ナリ
- (2) 化兵使用ハ天候氣象地形特ニ風向ニ左右セララルヲ以テ之カ使用計畫ニ方リテハ常ニ使用不可能ナル場合ニ於ケル方法手段ヲ併セ考究シ置クヲ要ス
- (3) 第一線歩兵ノ化兵ニ直接シテ敵陣深く突入スル要領並ヒニ砲兵ノ機ヲ失セサル陣地變換等ニ関シテハ更ニ研究ノ餘地大ナルモノアリ

上窯一方無名部落附近敵陣要圖
(於六月二日午前八時)

別紙第一



1451

圖要況狀射放兵化

(分五十四時一后午日三月大於)

別紙第二

北東風
二一三米

至上空

特種筒
八
二
五

只P

350m

5/12

上空河

至新店集

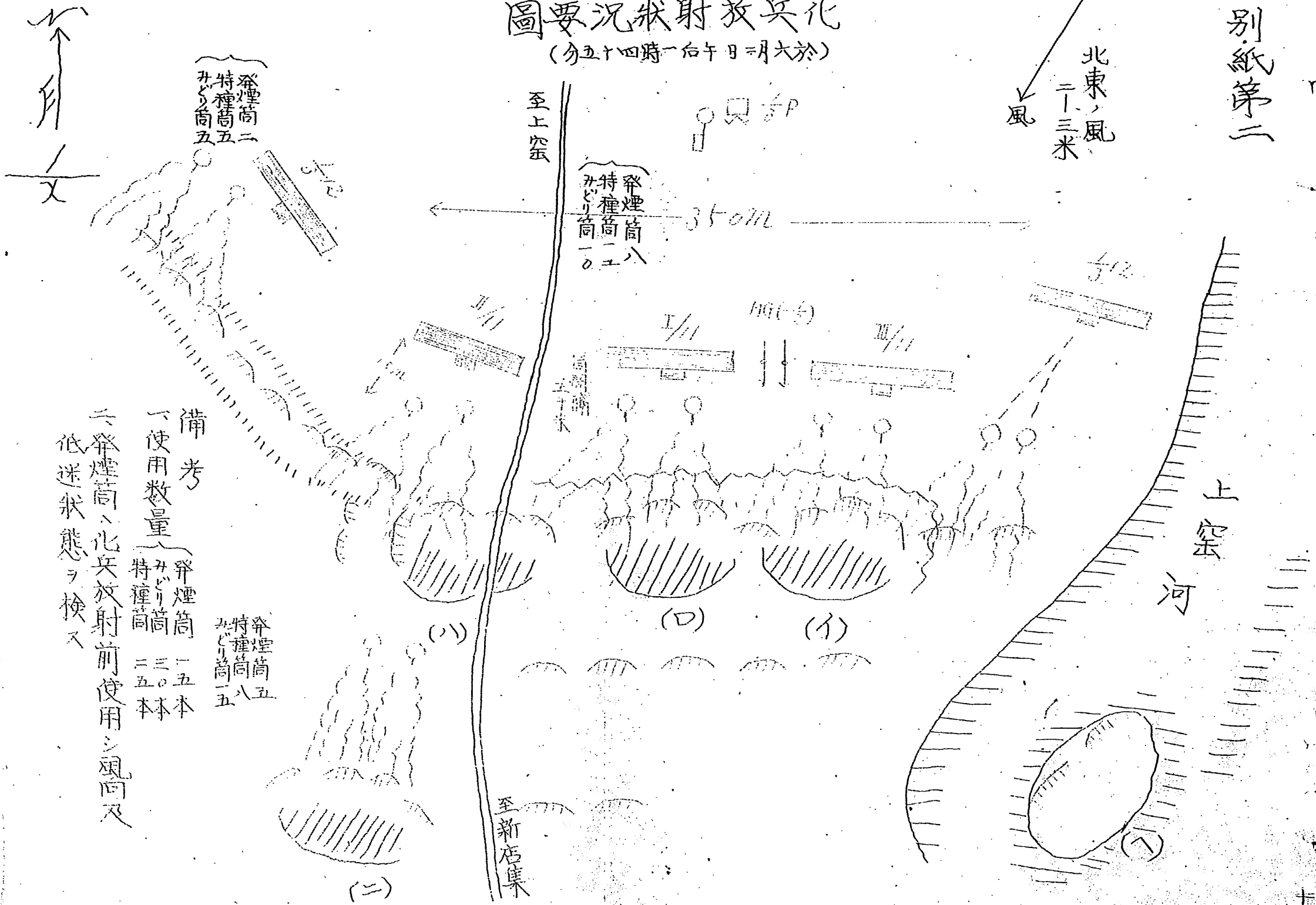
特種筒
二
五

備考
一使用数量

特種筒
二五本

特種筒
八
五

ニ特種筒ハ化兵放射前使用シ風向及
低迷状態ヲ検ス



第四 化兵使用ニ依リ戦局ヲ有利ニ導キタル戦例
〔壽縣東方六料白家郛附近ノ戦闘〕

一	戰闘前ニ於ケル彼我ノ状況
二	戰闘地ニ於ケル天候氣象地形
三	戰闘經過ノ概要
四	化兵使用ノ效果
五	経験ニ基キ得タル教訓

一戦斗前ニ於ケル彼我ノ状況

上蜜河ノ線ニ敗レタル敵ハ倉皇トシテ壽縣東方高地ノ線ニ退却シ最後ノ抵抗ヲ試ミントス其兵力概ネ二千五百ヲ算シ第百七十六師第七十四師廣西學生軍壽縣保安隊第二十五大隊ニ属スル正規軍ナリ

白家郛附近敵陣地要圖別紙第一ノ如シ

聯隊ハ六月二日薄暮ニ乘シ上蜜河渡河ヲ敢行シテ急追ニ移リ敵兵ヲシテ淮南炭坑附近一帯陣地ニ據ルノ迫ナカラシメ六月三日夜旅團命令ニ基キ六月四日當面ノ敵陣地ヲ攻略シ續イテ壽縣城ヲ奪取スルニ決ス

午後十一時三十分下達セル聯隊攻撃計画ノ要旨左記ノ

如シ

左記

(一) 方針

左第一線正面ヲ攻撃ノ重点トシ風向好適ナル場合化兵
ヲ使用シ兩大隊正面共一撃ニ敵陣地ヲ奪取シ壽縣
城ニ迫入
砲兵ノ城壁破壊ヲ待チみどり筒ヲ使用シ突入シ
逐次突入ス(以下省略)

(二) 要領

化兵使用ノ場合

イ、今夜中ニ兩第一線大隊ニ協力スル指揮官ヲ定
メ使用スルところノ数量及要領ヲ當該大隊長ト

協定セシム

ハ化兵ヲ使用スヘキヤ否ヤハ當日午前六時、測定
ニ依リ決定ス

ハ左右第一線全正面ニ亘リ適當ナル特種筒ヲ放流
ス

放射時機ハ午前六時二十五分ト豫定ス其間第一線
歩兵ハ夜來ノ出發位置ニ裝面待機ス

ニ特種煙敵陣地ヲ覆フニ到レハ歩兵ハ起チテ突入
ス

其時機ハ午前六時三十分ト豫定ス

ハ敵主陣地ヲ奪取セハ第一線歩兵ハ特種煙、流
動ニ膚接シテ前進シ縣城ニ近迫ス(以下省略)

右攻撃計畫ニ基キ聯隊瓦斯掛將校ハ化兵部隊ト

ノ協定ヲ完了シ之カ使用計畫ヲ立案ス

壽縣東方六料白家郛附近化兵使用計畫

(一) 方針

ノ風向好適ナル場合化兵部隊ノ協力ニ依リ主トシテ
左第一線大隊正面ニ聯隊統制使用ス
必要ニ應シ各部隊毎ニ適宜局部的使用ヲ行フ

(二) 要領

ノ發煙實施部隊

兩第一線大隊ニ協力セシメタル林田部隊ヲ以テ發煙
實施部隊ト定ム

第一大隊正面
第二大隊正面

磯田中尉ノ指揮スル小隊
清野中尉ノ指揮スル小隊

2. 發煙担任正面

大隊戰斗地域内ノ敵ヲ包蔽シ得ル如ク發煙ス
但シ戰域ノ外翼ニ若干ノ餘裕ヲ存シ且風向北若ハ
南風ナル場合他戰斗地域正面ニ對シ發煙スル如ク
考慮ス

3. 發煙位置

風向ニ依リ不足ナルモ出來得ル限り第一線歩兵ノ
前方若ハ側方トス（概ネ堤防ノ線敵前二百米）

4. 濃度

作業手ノ間隔ハ二十五米ヲ標準トシ放射數量
一本半ノ割合ナリ尚筒不良ナルモノ多キヲ以テ適
宜濃厚度ヲ増加ス
5. 發煙、砲撃ト突撃トノ時間的關係

發煙筒突火ニ依リ風向再点検
特種筒放射

午前六時

午前六時三十分

突撃

午前六時三十分

化兵發煙班ハ第一線歩兵ヲ掩護並砲兵ノ制圧射撃
ト共ニ發煙位置ニ進入ス

準備完了ヲ待チ發煙ニ移リ第一線歩兵ハ之ニ
膚接シテ突入ス此間砲兵ハ敵自動火器ニ對シ
適宜破壊射撃ヲ行ヒ煙ノ效果ヲ利用シテ隨
時陣地ヲ推進シ密接ニ歩兵戦斗ニ協力スル
モノトス

氣象特ニ風向觀測報告

觀測班ハ午前五時以降ニ十分毎ニ風向ヲ觀測シ其成
績ヲ聯隊瓦斯掛將校ニ通報スルモノトス

ニ戦斗地ニ於ケル天候氣象地形
天候氣象

一般ニ曇天ニシテ拂曉時東風三四米ナリシカ晝ニ及ンテ東南、西風ト變化シ風速一五米トナル
從ツテ正午以降全然使用不可能ナリ

地形

高低起伏ニ富ミ特ニ第二大隊正面ハ一〇五高地、一七〇高地等存在シ主トシテ畑地草地ヲナス

諸處村落点在スルモ概シテ低地内ニ位置ス

三

戦斗經過、概要特ニ放射ノ狀況

豫定時間ニ稍々遲延シテ到着セル化兵部隊ハ直ニ

兩第一線大隊位置ニ在リテ諸準備ヲ完了ス

聯隊右第一線第二大隊（第八第五中隊ノ小隊缺第三

機関銃ノ一小隊配属森田部隊、半部協力。左第一
 大隊（速射砲中隊三門、第三機関銃中隊ノ一小隊野砲
 若ハ輕榴ヨリ成ル）一小隊配属森田部隊、半部協力。
 豫備隊第九、第十中隊ノ兵力部署ヲ以テ午前七時三十分
 ヲ期シ攻撃前進ニ移ル。當時風向東南風、三四米ニシテ
 化兵使用ニ最モ好適トス。化兵部隊ハ機ヲ失セス第
 一線中隊ノ左側方ニ轉移シ先ヅ磯田小队發煙筒ニ
 續キ特種筒ヲ上呉火スレハ朦々タル化煙ハ地面近ク低迷
 シテ敵陣地全面ヲ覆ヒ其状態極メテ良好ナリ。聽テ化
 兵ノ效果ヲ認知シタル第一線中隊ハ化煙ニ膚接シテ
 勇猛果敢敵陣ニ肉迫シ第二大隊正面ニ比シ著シク
 進出スルヲ得タリ。
 濃度ハ無防護、敵ニ對シ概ネ二千米迄制圧シ得ル

程度ナルヲ以テ陣地ニ就キタル支那兵モ周章狼狽堅陣ヲ
 拋棄シテ逐次退却ヲ開始シ一〇五高地、一七〇高地一帯ノ最後
 陣地ニ據ラントセリ

此時右第一線タル第二大隊ハ一〇五高地東側高地上ニ在リテ
 化兵部隊本部ハ兩大隊中間第一線ニ位置ス

時間ノ經過ト共一〇五高地上掩蓋銃挫ヨリスル側斜射ハ殊々猛
 烈トナリ第一線部隊ノ前進漸ク困難トナル

此處ニ於テカ化兵部隊本部ハ斷呼第二回放射ニ決シ主トシテ
 一〇五高地一帯ヲ包蔽スル如ク煙幕ヲ展張セリ意外ニモ其
 効果ハ如實具ニ具現シテ第一大隊正面ハ更ニ戦斗ノ進捗
 ヲ見ルニ到ル

第二大隊協力ノ清野小隊亦極力前進ニ努メテ發煙時機
 ヲ待チアリシカ風向漸次西南風トナリシ爲使用不可能トナリ

已ハナク第一大隊正面ニ移動ス
 時ニ師團瓦斯掛將校西岡大尉、直接指導ヲ得テ見
 事ニ五高地陣地一帯ヲ完制シ第三面放射ニ奏功スルヲ
 得タリ
 爾後晝間トナルニ及シテ逆風トナリ上昇氣流、爲全然
 特種煙效果ヲ消滅セラレ第一線部隊ハ概ネ現在線ニ固
 着シテ對陣狀態トナルモ聯隊ハ依然攻撃ヲ續行ス
 ルニ決シ猛襲ニ次クニ夜襲ヲ以テシ銳意力攻ヲ繼續ス
 斯クシテ韌強執拗ナル敵兵モ遂ニ我連續攻撃ニ抵抗シ
 得ス夜間ニ入ルト共ニ逐次總退却ヲ開始セリ
 此好機ヲ看破シタル聯隊ハ機ヲ失セス追撃ニ移リ諸處
 歩々ノ抵抗ヲ排除シツ、翌五日午前六時第二大隊、東門占
 領ニ引續キ西北、南門ヲ占領シ午前七時三十分全員入城

ヲ完了セリ

(1) 本戦闘間ニ於ケル化學戰並ニ使用數量

特種筒

一九四本

發煙筒

四〇本

(2) 本戦闘ニ於ケル放射狀況要圖別紙第二ノ如シ

四 化兵使用ノ效果

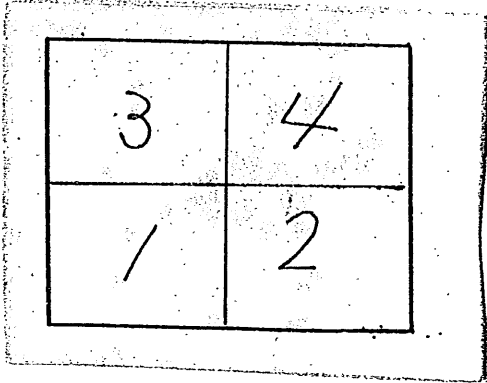
濃度、關係上空息死ニ至ラシムル效果ハ認め得サリシモ敵兵ニ與ヘタル精神的感響ハ頗ル甚大ナルモノアリ一面我第一線歩兵ニ對シテハ新兵器、威力ヲ確認シ且信倚セシメ有形無形上戰捷ノ途ヲ拓キ得タルモノト信ス

五 經驗ニ基キ得タル教訓

(1) 第一線歩砲工兵隊長ト瓦斯隊長トハ攻撃開始前
 現地ニ於テ緊密ナル協同ヲ實施スルハ勿論攻撃手前進後
 ニ於テモ隨時連絡シ得ル如ク更ニ創意工夫スルノ要
 アリ風向ノ變化甚タシキ場合ニ於テ特ニ然リ

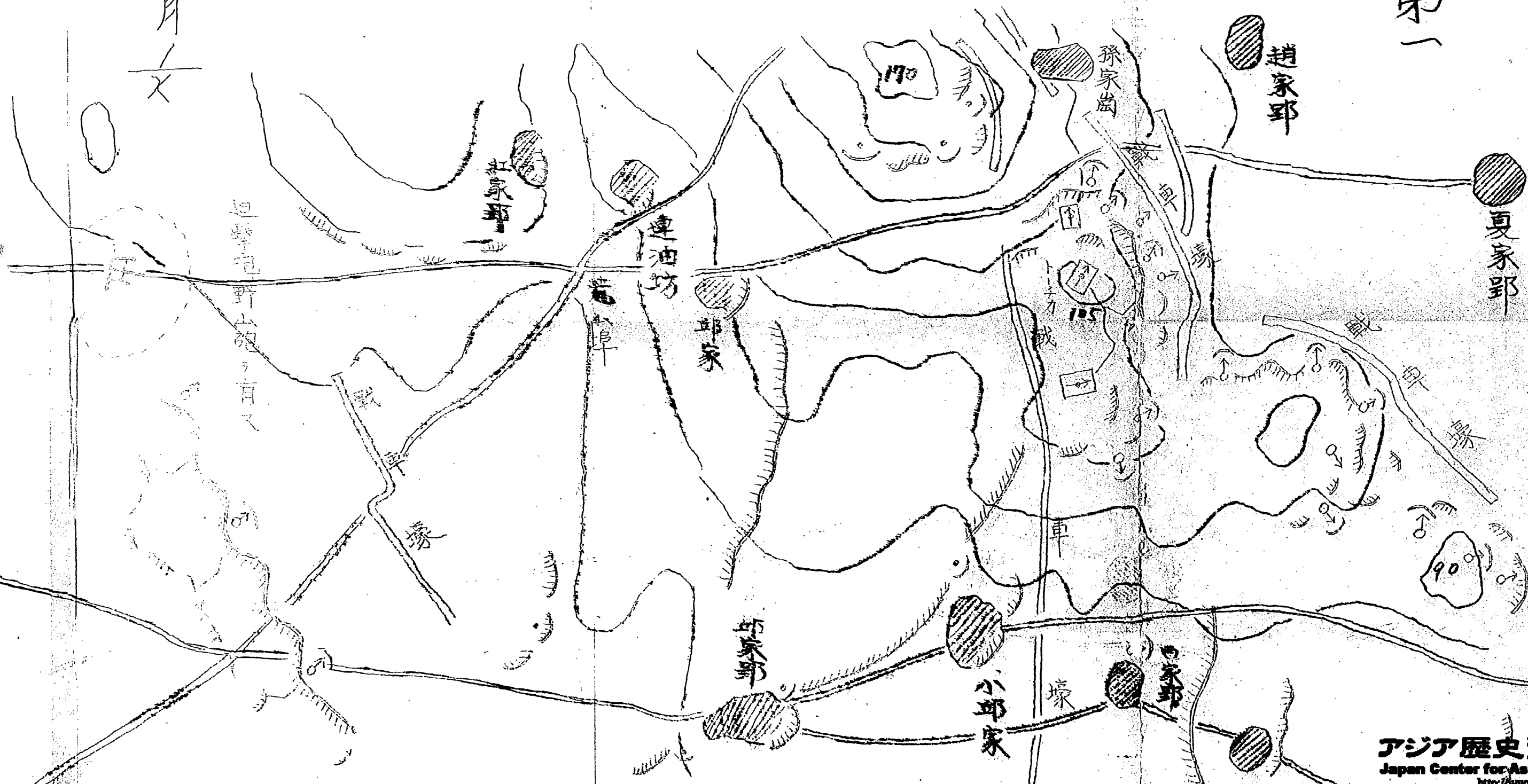
(2) 化兵放射ハ常ニ化兵部隊ニ委託スルコトナク第一線
 歩兵ト雖敵陣地照部ニ付シ適宜放射シツ、前進
 スルコト肝要ナリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A 3 判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 8 年 / 月 9 日 主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 	

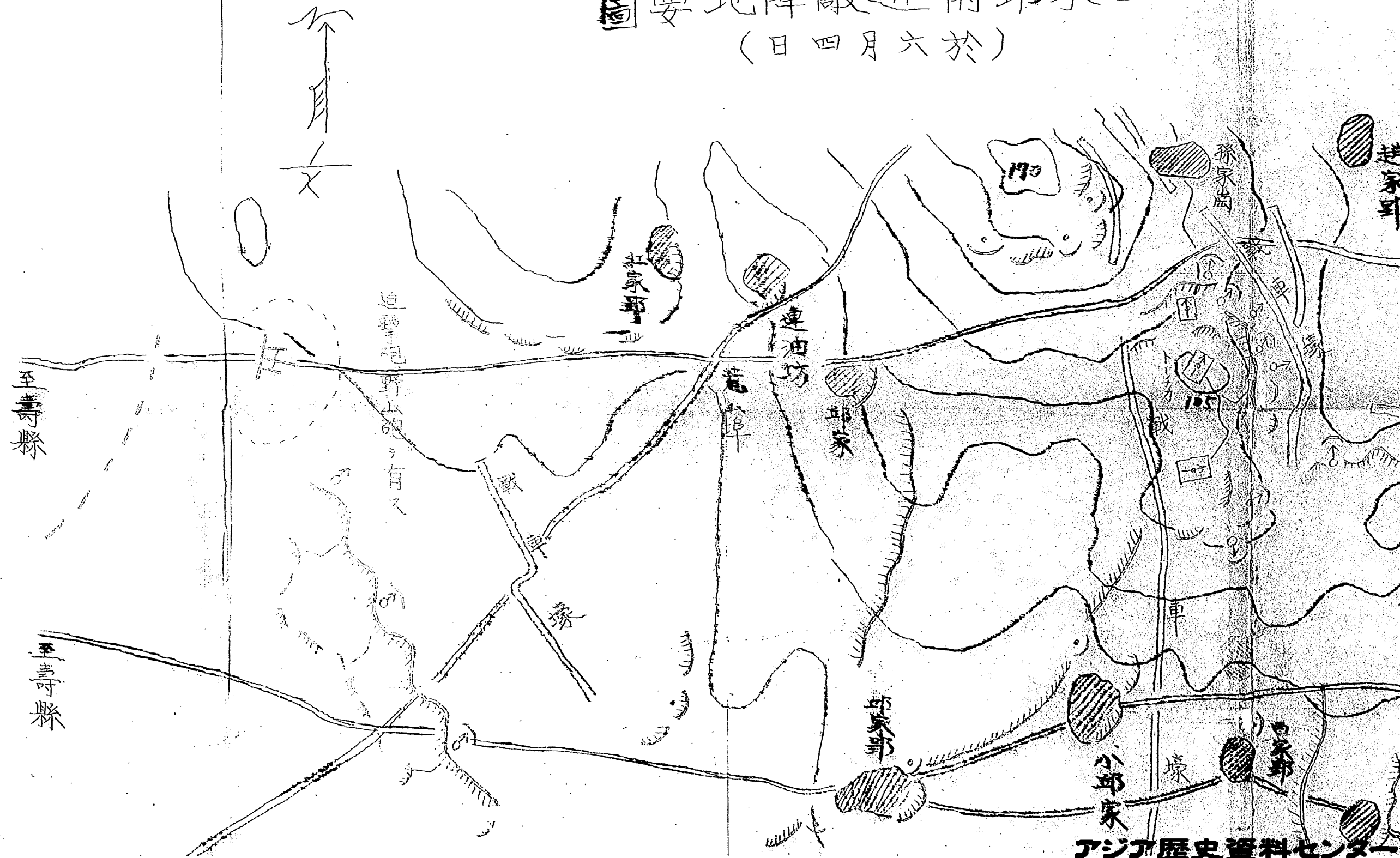
白家郛附近敵陣地要圖
(於六月四日)

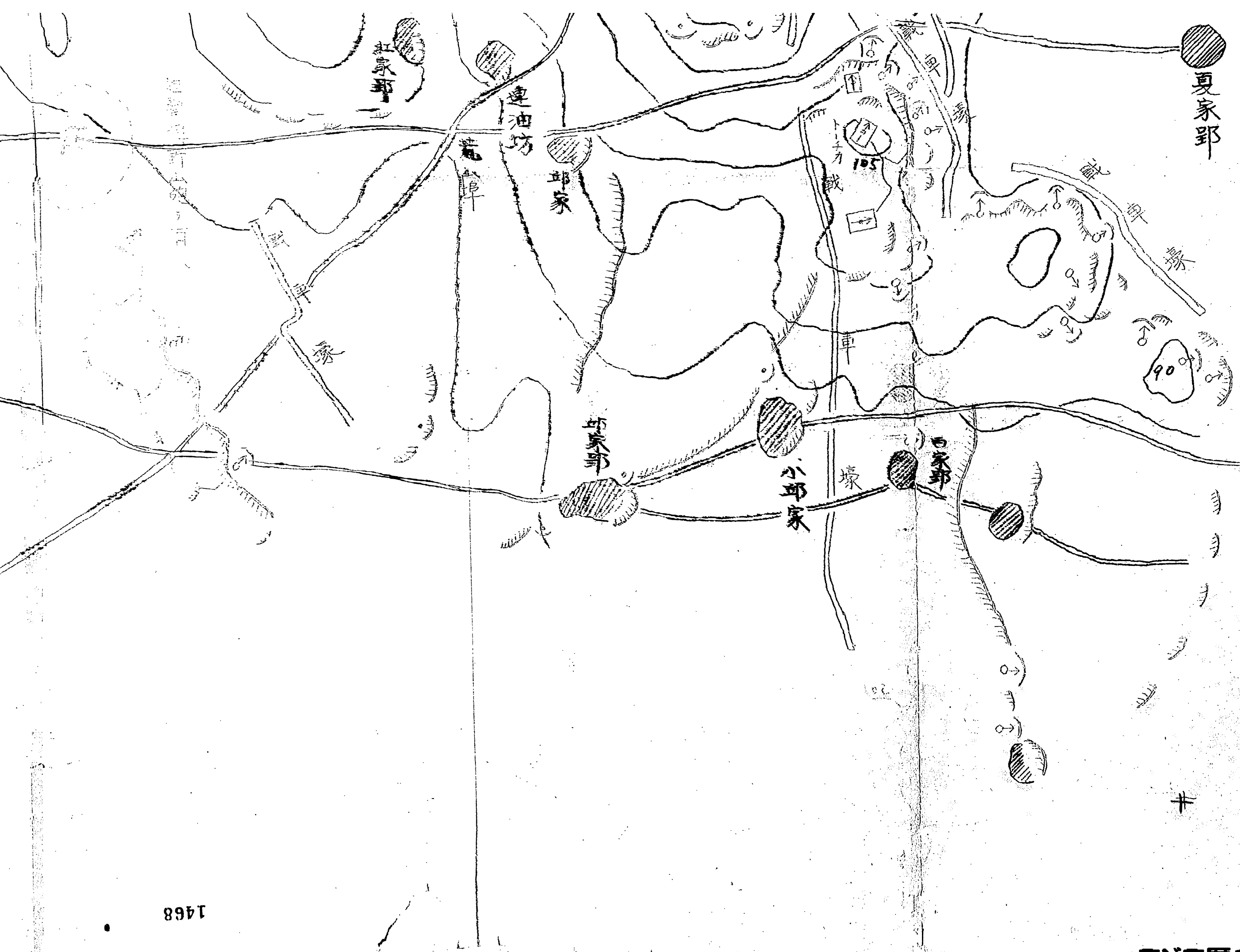
別紙第一

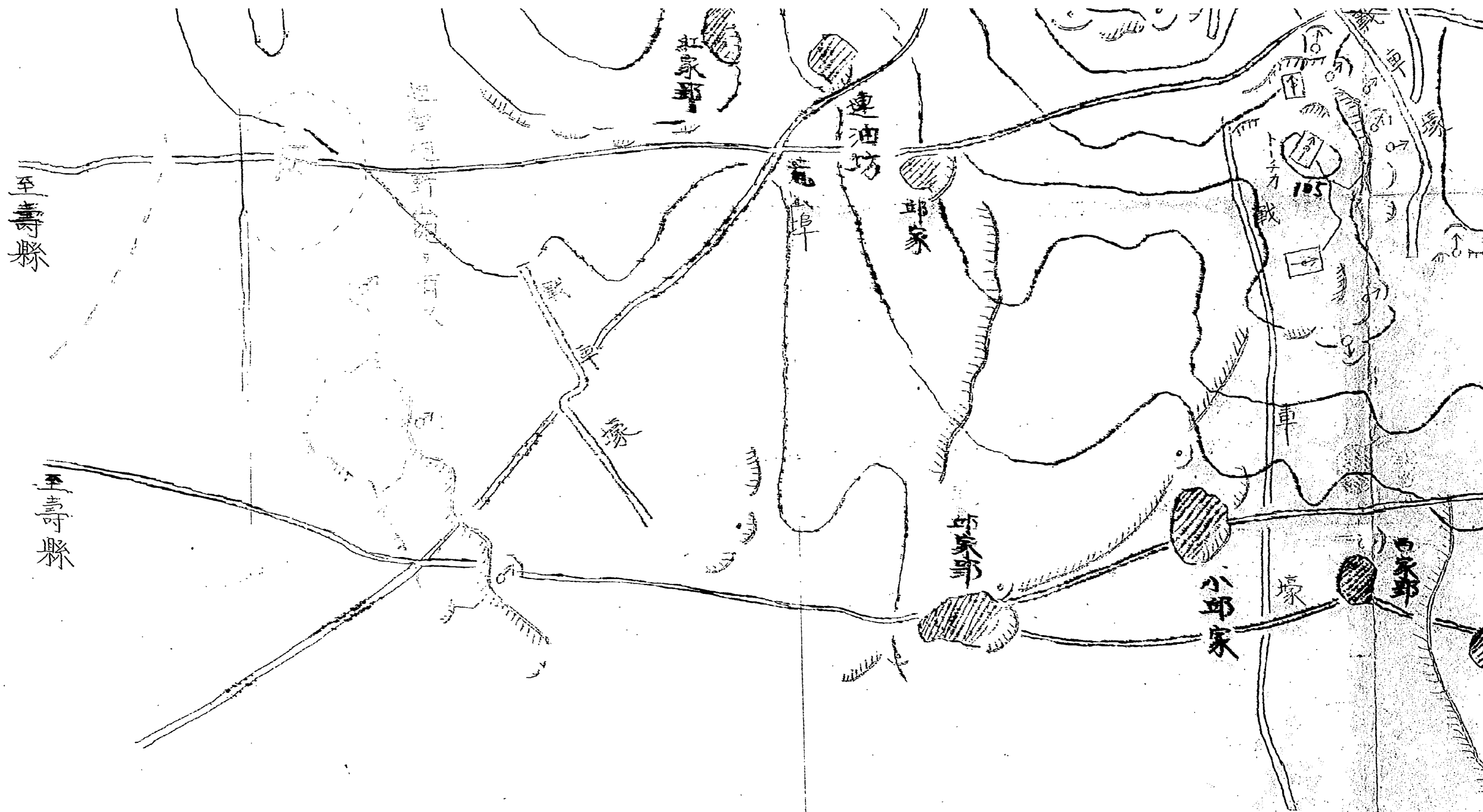


白郢家附近敵陣地要圖

(於六月四日)



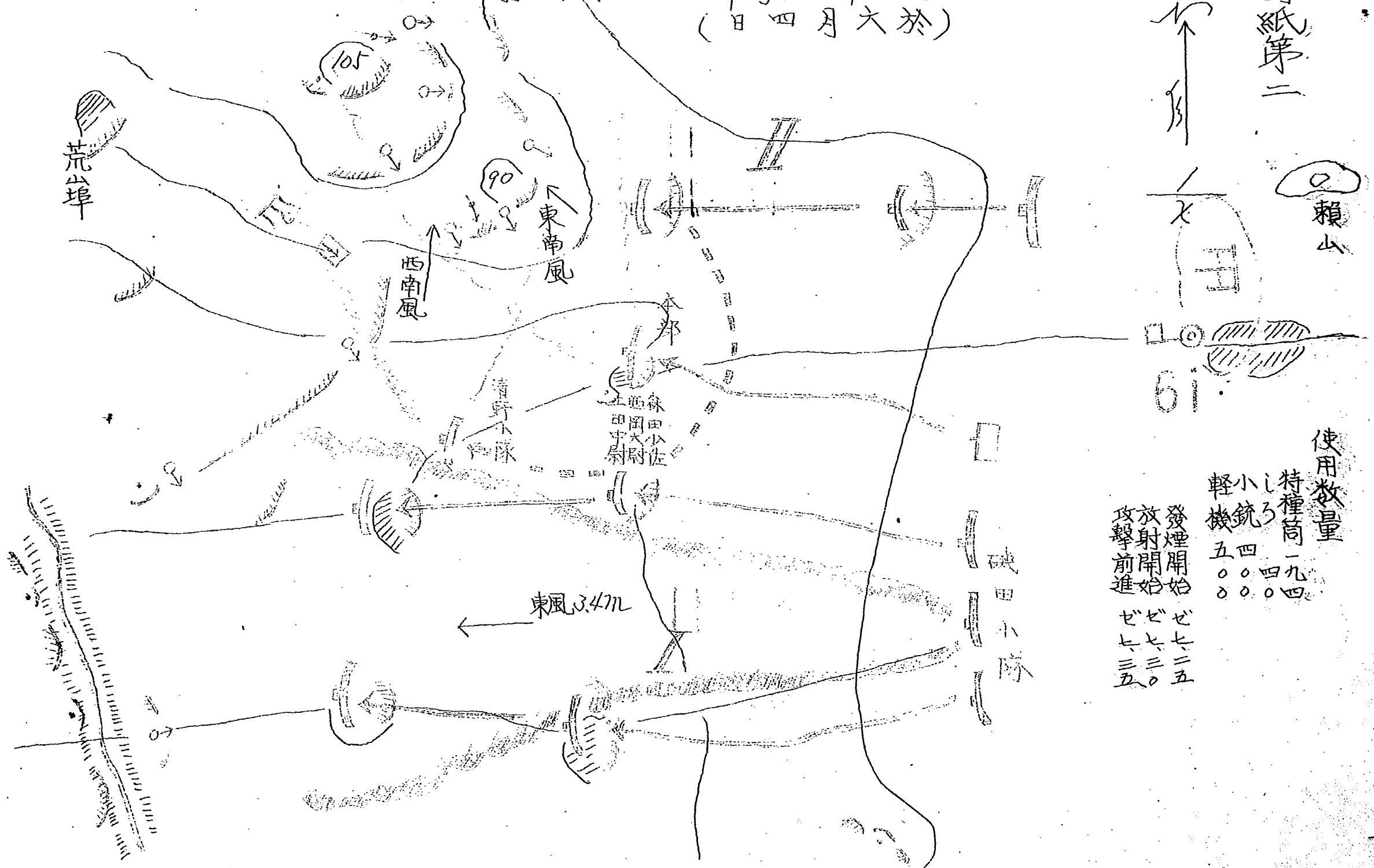




1469

1468

壽縣東方約六料白家附近化兵放射狀況要圖
(於六月四日)



別紙第二

使用数量
特種筒 一九四
小銃 四〇〇
軽機 五〇〇

發煙開始 ぜ七三五
放射開始 ぜ七三五
攻撃前進 ぜ七三五